



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大名

上場会社名 株式会社 太平製作所
コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 成田 光将

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 桂山 哲夫

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 未定

TEL 0568-73-6411

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	945	△24.5	△304	—	△296	—	△296	—
22年3月期第2四半期	1,251	△62.4	△290	—	△287	—	△292	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△21.52	—
22年3月期第2四半期	△20.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	5,647	2,384	42.2	173.07
22年3月期	5,824	2,716	46.6	197.14

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,384百万円 22年3月期 2,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年3月期(予想)の配当金につきましては現時点では未定であります。
配当予想額の開示につきましては、当期の業績が明らかになり次第随時開示する予定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	12.2	△250	—	△250	—	△250	—	△18.14

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	15,000,000株	22年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,221,075株	22年3月期	1,221,075株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	13,778,925株	22年3月期2Q	13,990,770株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気回復の兆しが少しずつ見え始めてはおりますが、円高や原油価格の高騰など、経済状況の不安定な状態が続き、依然として厳しい状況のなか推移いたしました。

当社グループにおきましても、これらの影響を少なからず受けており、国内においての関連業界の回復はいまだに不透明なことから、予断を許さない状況が続いております。

一方海外に目を向けますと、投資意欲は全般的に増大傾向に向かいつつありますが、海外においての当社の主要取引先や関連業界は、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結会計期間の当社グループの売上高は609百万円（前年同四半期比36.5%減）となりました。グループ各社ともに、国内及び国外営業が一体となって営業活動を推し進め、製造部門においては、原価及び工程管理をきめ細かく実施しましたが、設備投資意欲の回復がまだまだ望めず、それに伴い、受注の確保が予想よりはるかに厳しくなったことから、結果、営業損失は84百万円（前年同四半期は51百万円の営業損失）、経常損失は78百万円（前年同四半期は47百万円の経常損失）、四半期純損失は86百万円（前年同四半期は53百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、景気回復が徐々に見え始めてはいるものの、依然として厳しい状況が続いており、受注確保が困難を極め、当第2四半期連結会計期間の売上高は255百万円（前年同四半期比60.1%減）と、売上予想をはるかに下回る結果となりました。営業損失につきましては、コスト削減等にも最大限努力しましたが、売上減少が大きく影響し、57百万円（前年同四半期は20百万円の営業利益）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、景気回復が少しずつ見え始め、木工業界全体は明るい兆しが見え始めつつあります。そのため、機械の受注が少しずつ確保出来るようになり、当第2四半期連結会計期間の売上高は178百万円（前年同四半期比57.7%増）となりました。営業利益につきましては、売上の増加に加え、コスト削減等にも努力した結果、7百万円（前年同四半期は70百万円の営業損失）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、景気持ち直しの影響で住宅着工戸数に下げ止まり感が見られるなど、住宅投資の持ち直しが少しずつ見え始めてはおりますが、住宅建材全体の需要としては依然として厳しい状況が続いております。当第2四半期連結会計期間の売上高は175百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。営業損失につきましては、売上と受注の減少が大きく影響し、21百万円（前年同四半期は13百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、3,597百万円となりました。これは主に、現金及び預金が249百万円、受取手形及び売掛金が212百万円、未収入金が77百万円減少し、たな卸資産が399百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、2,050百万円となりました。これは主に、有形固定資産が39百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、5,647百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.3%増加し、2,047百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が255百万円増加し、前受金が11百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.5%減少し、1,216百万円となりました。これは主に、長期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.0%増加し、3,263百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて12.2%減少し、2,384百万円となりました。これは、利益剰余金が324百万円減少したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,800百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は68百万円（前年同四半期は131百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失及びたな卸資産の増加による資金の減少に対して、売上債権の減少及び仕入債務の増加に伴う資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は0百万円（前年同四半期は174百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は101百万円（前年同四半期は67百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

国内外の経済情勢は、景気は一部持ち直しの動きは見られたものの、当社グループを取り巻く事業環境としては、依然として厳しい状況にあります。

合板機械、木工機械、住宅建材の需要は、新設住宅着工戸数の変動に大きく影響されやすく、設備投資意欲の低迷はまだ改善されるに至っておりません。

また、主力合板機械事業での大型機械はすべて受注生産であり、搬入・稼働に至るまで、受注後売上を計上するには長期間にわたるなど、継続的な売上に対してマイナス要因となっております。そのため、より多くの受注を確保することを第一目標とし、より一層オリジナルな製品の開発や現状の機械の改良・改善に力を注いでおります。

今後の見通しにつきましては、営業戦略をより強化し、出来る限り安定した受注確保を目指しておりますが、業績予想につきましては、何分にも景気が不安定な状態であることから今後も厳しい状況が続くものと思われまます。今後とも業績の改善が最重要課題の一つと考え、グループ一丸となって営業活動を推し進め、コスト削減等にも積極的に取り組んでまいり所存であります。

以上のような見込み、最近の業績動向等を踏まえた結果、平成22年11月5日付で通期の連結業績予想の修正を行いました。なお、平成22年5月13日に公表しました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,500	百万円 △80	百万円 △60	百万円 △65	百万円 △4.72
今回発表予想（B）	3,250	△250	△250	△250	△18.14
増減額（B－A）	△250	△170	△190	△185	－
増減率（%）	△7.1	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成22年3月）	2,897	△451	△447	△442	△31.84

2. その他の情報

- (1) 重要な子会社の異動の概要
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要
該当事項はありません。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要
該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,240,841	2,490,412
受取手形及び売掛金	474,289	686,302
有価証券	99,910	99,910
製品	96,976	79,600
仕掛品	505,202	124,282
原材料及び貯蔵品	143,098	141,668
繰延税金資産	—	4,021
その他	53,831	118,656
貸倒引当金	△16,523	△22,250
流動資産合計	3,597,627	3,722,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	791,065	818,330
土地	689,746	689,746
その他（純額）	133,747	145,496
有形固定資産合計	1,614,560	1,653,573
無形固定資産	47,492	51,380
投資その他の資産	388,310	396,796
固定資産合計	2,050,363	2,101,749
資産合計	5,647,990	5,824,353
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	675,630	420,066
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	1,248	—
賞与引当金	42,987	48,103
その他	377,184	389,275
流動負債合計	2,047,051	1,807,444
固定負債		
長期借入金	700,000	800,000
繰延税金負債	227,610	234,693
退職給付引当金	202,495	186,889
役員退職慰労引当金	56,494	51,512
その他	29,683	27,404
固定負債合計	1,216,283	1,300,499
負債合計	3,263,334	3,107,944

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	1,747,433	2,071,538
自己株式	△176,832	△176,832
株主資本合計	2,397,802	2,721,907
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,147	△5,499
評価・換算差額等合計	△13,147	△5,499
純資産合計	2,384,655	2,716,408
負債純資産合計	5,647,990	5,824,353

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,251,899	945,224
売上原価	1,195,432	965,729
売上総利益又は売上総損失(△)	56,467	△20,505
販売費及び一般管理費	347,155	284,309
営業損失(△)	△290,688	△304,815
営業外収益		
受取利息	1,777	1,026
受取配当金	3,061	2,371
鉄屑売却収入	1,077	900
助成金収入	15,221	7,801
その他	3,216	13,357
営業外収益合計	24,353	25,456
営業外費用		
支払利息	8,073	10,245
デリバティブ評価損	9,393	6,335
その他	3,211	445
営業外費用合計	20,678	17,026
経常損失(△)	△287,012	△296,385
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	5,733
特別利益合計	—	5,733
特別損失		
固定資産除売却損	7,650	128
前期損益修正損	—	4,349
特別損失合計	7,650	4,477
税金等調整前四半期純損失(△)	△294,663	△295,129
法人税、住民税及び事業税	690	568
過年度法人税等	2,951	△1,316
法人税等調整額	△5,706	2,165
法人税等合計	△2,065	1,417
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△296,547
四半期純損失(△)	△292,598	△296,547

（第2四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結会計期間 （自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）	当第2四半期連結会計期間 （自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）
売上高	959,050	609,142
売上原価	825,712	544,745
売上総利益	133,337	64,396
販売費及び一般管理費	185,172	149,107
営業損失（△）	△51,835	△84,711
営業外収益		
受取利息	1,024	690
受取配当金	1,381	707
鉄屑売却収入	826	900
助成金収入	11,603	2,791
その他	757	9,571
営業外収益合計	15,593	14,661
営業外費用		
支払利息	4,289	5,186
デリバティブ評価損	6,076	2,826
その他	1,170	61
営業外費用合計	11,536	8,073
経常損失（△）	△47,777	△78,122
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,645
特別利益合計	—	2,645
特別損失		
固定資産除売却損	69	76
前期損益修正損	—	4,349
特別損失合計	69	4,426
税金等調整前四半期純損失（△）	△47,847	△79,903
法人税、住民税及び事業税	345	284
過年度法人税等	2,951	△1,316
法人税等調整額	2,233	7,844
法人税等合計	5,529	6,812
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	—	△86,715
四半期純損失（△）	△53,377	△86,715

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△294,663	△295,129
減価償却費	58,078	55,669
貸倒引当金の増減額(△は減少)	451	△5,733
賞与引当金の増減額(△は減少)	△673	△5,115
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,600	△3,632
退職給付引当金の増減額(△は減少)	31,170	15,605
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,105	4,982
受取利息及び受取配当金	△4,838	△3,397
デリバティブ評価損益(△は益)	9,393	6,335
支払利息	8,073	10,245
有形固定資産除売却損益(△は益)	7,650	128
売上債権の増減額(△は増加)	89,809	212,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,782	△399,727
仕入債務の増減額(△は減少)	△241,843	255,564
前受金の増減額(△は減少)	122,568	△11,139
その他	△59,165	△36,276
小計	△272,910	△199,607
利息及び配当金の受取額	4,838	3,397
利息の支払額	△7,638	△10,177
法人税等の還付額	93,601	92,739
法人税等の支払額	△62,186	△500
営業活動によるキャッシュ・フロー	△244,295	△114,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△220,557	△3,806
無形固定資産の取得による支出	△7,733	—
投資有価証券の取得による支出	△214	△207
貸付けによる支出	△10,000	—
その他	△7,397	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,902	△4,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△50,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△31,369	—
配当金の支払額	△55,185	△27,471
その他	△2,422	△3,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	361,022	△131,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△129,175	△249,570
現金及び現金同等物の期首残高	1,633,223	2,050,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,504,047	1,800,841

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	合板機械事業 (千円)	木工機械事業 (千円)	住宅建材事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	638,882	113,303	206,864	959,050	—	959,050
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	97	—	97	△97	—
計	638,882	113,400	206,864	959,147	△97	959,050
営業利益（又は営業損失△）	20,415	△70,584	13,094	△37,074	△14,760	△51,835

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	合板機械事業 (千円)	木工機械事業 (千円)	住宅建材事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	702,727	166,161	383,010	1,251,899	—	1,251,899
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	97	—	97	△97	—
計	702,727	166,258	383,010	1,251,996	△97	1,251,899
営業利益（又は営業損失△）	△122,279	△150,985	16,432	△256,831	△33,856	△290,688

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の主要な製品は次のとおりであります。

- (1) 合板機械事業 … 合板機械の製造販売
- (2) 木工機械事業 … 木工機械の製造販売
- (3) 住宅建材事業 … 住宅建材の製造販売

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）及び前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、記載しておりません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	東南アジア	北米	ロシア	その他	計
I 海外売上高(千円)	39,783	3,994	2,350	8,400	54,527
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	959,050
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	4.1	0.4	0.2	0.9	5.7

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	東南アジア	北米	ロシア	その他	計
I 海外売上高(千円)	66,072	4,408	3,420	15,334	89,234
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	1,251,899
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	5.3	0.4	0.3	1.2	7.1

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 東南アジア … マレーシア、インドネシア、フィリピン
 (2) 北米 … アメリカ合衆国、カナダ
 3. 海外売上高は、本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、合板機械事業、木工機械事業及び住宅建材事業の3区分より構成されております。

合板機械事業は「小牧事業部」、木工機械事業は「大阪事業部」、住宅建材事業は当社の子会社であります「太平ハウジング株式会社」が、それぞれ製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	370,082	254,017	321,124	945,224
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	10,063	—	10,063
計	370,082	264,080	321,124	955,287
セグメント損失（△）	△187,980	△56,379	△30,165	△274,525

当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	255,138	178,701	175,302	609,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	10,000	—	10,000
計	255,138	188,701	175,302	619,142
セグメント利益又は損失（△）	△57,364	7,391	△21,426	△71,398

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△274,525
セグメント間取引消去	△10,063
全社費用（注）	△20,226
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△304,815

当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△71,398
セグメント間取引消去	△10,000
全社費用（注）	△3,312
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△84,711

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

該当事項はありません。